

第 1 回 定 期 研 究 会

平成 28 年度 SGST 第 1 回定期研究会 議事録

日時：平成 28 年 4 月 28 日 16:00～17:30

場所：名城大学 天白キャンパス 研究実験棟Ⅱ 多目的室

出席者：相澤，内山(宗)，藤井，淵上【パルステック】，青畠【中部復建】，安藤(弘)

【日本工営】，安藤(浩)，飯田，伊藤(眞)，鎌田，河本，櫻井，高地，松村【瀧上】，
宮本【ショーボンド】，伊藤(文)【名高速】，井上【東京鐵骨】，入山【中日本C】，
内山(眞)，大橋【オリエンタルC】，海老澤【名工大】，岡田【中部地整】，岡本(利)
【橋梁調査会】，小塩，葛，久保，渡辺【名城大】，加藤(正)，山田(健)【中日本
H】，川瀬，王【日中C】，川西【豊田高専】，木下【岐阜大】，小枝【川田工業】，
坂井田【大日C】，館石，清水(優)，判治【名大】，杉山【日本ピーエス】，鷺見，
永富【八千代エンジ】，園部【JIP】，長谷川【セントラルC】，長谷部【長谷部応
力研】，
畑佐【興栄C】，花輪【日本鉄塔】，平野，山田(尚)【日車】，前田【共和電業】，
水野【サンワ】，宮崎【デーロス】

以上 51 名(敬称略)

1. 定期研究会 (16:00～17:30)

講演者：東京大学地震研究所 社会基盤学専攻 准教授 市村 強氏

講演項目：【京コンピュータを用いた大規模地震応答解析 -構造物から都市まで-】

講演内容

講演【京コンピュータを用いた大規模地震応答解析 -構造物から都市まで-】：

京コンピュータに代表されるように計算機環境の進歩が著しい中、シミュレーション手法の研究開発も盛んであり、以前に比べ、大規模な数値シミュレーションを手軽に行うことができるようになりつつある。そのような中で、大規模数値シミュレーションの社会基盤分野への応用を念頭に、最近の計算機環境の動向を振り返りながら、大規模数値シミュレーションを行う上でのポイントを整理し、大規模数値シミュレーションの適用例として、構造物から都市までを対象とした京コンピュータを用いた大規模地震応答解析の概要について説明された。

また、講演後は、現状の解析手法と比較して、京コンピュータを用いた場合の特徴や応用時の特筆事項など非常に活発な質疑応答が行われた。

以上